

# 自主防災組織

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯感に基づき、地域の方々が自発的に、初期消火、救出・救護、集団避難、給水・給食などの防災活動を行う団体のことです。

## 防災知識の普及

防災イベントの実施、回観板を使った啓発など



## 日ごろの確認・点検

地域内における燃えやすいものや、ブロック塀、看板等、倒れやすい物の点検など



## 防災資機材の整備

ヘルメット、消火器、担架、ハンマーなどの作業道具、救急医薬品、非常食品等の防災資機材や備蓄品の整備・管理など



## 防災訓練の実施

情報の収集・伝達訓練、初期消火訓練、避難誘導訓練、救出救護訓練、炊き出し訓練など。ぜひ、参加してみましょう。



## 普段から地域のつながりが大切です

過去の大震災で家の下敷きになった人々の多くを助け出したのは、家族や近所の人たちでした。大規模災害時の救助や避難などには、普段の近所づきあいが力を発揮します。また、高齢者や障がい者の方などへの心配りが大切になります。

## 普段から お互いに声を かけあうと



## いざというとき、助け合える



高齢者や障がい者など、配慮を要する方を「要配慮者」といいます。そのうち、災害時に自ら避難することが困難で、避難に支援を要する方を「避難行動要支援者」といいます。このような方々が逃げ遅れることの無いよう、地域で協力して助けあいましょう。

### 目の不自由な方には



杖を持っていない側にまわり、肩やひじのあたりを持ってもらい、半歩前をゆっくりと歩きましょう。

### 一人暮らしの高齢者の方には



特に一人暮らしの高齢者には普段から気を配りましょう。

### 耳が不自由な方には



話すときは近くまで寄って相手にまっすぐ顔をむけて口を大きくはっきりと動かしましょう。

### 体の不自由な方には 寝たきりの方には



車いすの場合は必ず3人以上で協力し、上がるときは前向き、下がるときは後ろ向きで避難しましょう。

※外国人の方は、避難情報等が理解できないおそれがあります。周囲の方が声をかけ、一緒に避難しましょう。